

■■■■ 前回ふりかえりシートまとめ（10月7日分） ■■■■

1. 今日の議論でよかったこと

- 3つのグループから様々な意見が聞かれたこと。
- 色々な世代の方の意見が聞けたこと。
- 各世代によって様々な意見・要望があることが顕在化してよかった。
- 知らなかった情報が聞けたこと。
- 各地区における問題点が出されてよかった。
- 自分が知らない地域内のことを聞き知ることができてありがたかった。
- 今まで知らなかった地域のことが少しわかった気がする。
- 地域の公共施設の全体像と問題点を、色々な方と意見交換できたことがよかった。
- いままであまり考えなかった地域の問題点が多数浮き彫りになった。
- 課題について共有できた。
- 新潟市全体の公共施設の現状について、一応理解ができた。
- 本音で自由に話し合える場ができてよかった。
- 気兼ねなく、自分の意見を言えたと思う。
- なごやかな雰囲気の中で、様々な意見が出てよかった。
- みんなで真剣に地域の問題を考えていた。
- 市営住宅跡地利用の活動拠点整備に熱望を感じた。
- 曾野木地域の今後の発展のため、色々な角度から意見が出されたことに満足している。
- 参加者のみなさんが積極的に意見を発言し、思っていること、気づいたこと、地域の将来を見据えての考えを率直に議論し、和やかなワークショップだった。
- 交通・買い物・健康・学びなど、生活に不可欠な内容ばかりで、多世代の方が利用しやすいものができるとうい。

2. 内容について言い足りなかったこと

- テーマが「公共施設」だったので、コミュニティに関する話もできれば、一石二鳥。
- 文章に横文字（カタカナ文字）が多すぎる。できるだけ日本語にしてほしい。
- 財政負担を将来になるべく少なくする計画にしたい。
- 今回の内容を整理し、次回、足りなかったことが見えてくるかもしれない。
- 1回目はブレインストーミングでよいのではないか。
- 2回目以降、出た意見を大括りに深めては。
- 曾野木地域は、政令市に移行して10年経過しても、行政のソフト・ハード面に変化が見られず、陽の当たらない地域としての失望感が強い。これからの行政の取り組みに期待したい。
- 市営住宅跡地利用について、ある程度、準備委員会の説明で理解できたが、具体的な意見を話し合いたかった。
- コミセンと連絡所は同一の建物にしてほしい。
- 各自治会で運営している会館助成を手厚くしてほしい。
- 公園の充実（信濃川の活用）
- 大きな駐車場、自由に借りられるイベントホール
- 児童センターはほしい。

3. 進め方について言いたいこと

（全体）

- 市営住宅検討内容以外の意見を取りあげてほしい。
- 市営住宅跡地利用基本構想策定準備委員会からの意見を尊重し、住民の活動拠点整備の基本構想策定を急いでまとめてほしい。
- 本日のワークショップの討議のまとめを、みんなに送付してほしい。
- 今日出た意見をフィードバックしてほしい。
- 次回はもう少し方向性を絞っての討論を。
- 今回の進め方でいいと思う。

(グループ討議)

- 平等に意見が言えるような進行を望む。
- ファシリテーターがみんなの意見を引き出す進行をしていて、よかった。
- 1回目ということもあり、意見も多くまとめにくかったのではないかと思うが、時間内に終えてよかった。
- 発言する人が偏っている傾向や、長々の発言があり、司会者のリードがほしい。
- ファシリテーターが議事進行、とりまとめを積極的に進めてくれたので、無駄な時間がなくスムーズにできたと思う。

(参加者・開催日時など)

- 団体よりも公募をもっと増やした方がいいと思う。
- 予定通り選任されたメンバーで3回のワークショップ開催でよい。
- ワークショップの時間帯が、仕事をしている人にとっては出席しにくいのでは。
- 平日3時間はきつい。休憩時間があって助かった。
- 開催時間を夜にした方が参加が増えると思う。
- 時間をもう少し短く(2時間程度)、昼夜の検討を。
- ワークショップの時間は2時間までがいいと思う。
- 3回のワークショップで結論が出せるのかどうか。
- 月1回のペースでワークショップを実施した方がよいのでは。